

# TLY CULTURE® キット25

トライ カルチャー

## 製品特長

(株)GCリンフォテックが開発したTLY CULTURE® キット25 は、ヒトリンパ球の培養に必要な培養用フラスコ及び専用の培養液(5mL)をセットにした、新しいタイプのヒトリンパ球培養用キットです。少量の全血及び分離後の新鮮リンパ球から簡単にヒトリンパ球を培養することが出来ます。培養用フラスコは、抗ヒトCD3抗体を底面に固定化しています。培養液は、RPMI-1640培地を主体とし、10% FBS及びインターロイキン-2(IL-2)を含みます。

TLY CULTURE® キット25 は、これまで血液サンプルが少量のために実施できなかった研究・検査等に有用な製品です。

## キット内容

抗ヒトCD3抗体を底面に固定化した、ヒトリンパ球培養用培養液5mL入り培養用フラスコ(25cm<sup>2</sup>)

## 使用目的

血液サンプルが少量のために実施できなかったDNA解析用の試料作成等が可能です。

## 操作方法

### 培養準備

1. TLY CULTURE® キット25を室温または37°Cの恒温器で解凍する。
  2. フラスコを静かに回転させ、壁に付いた水滴をとる(\*)。
  3. 使用時まで、静置する。
- \* キャップの内側についた水滴が気になる場合は、無菌的に吸引除去する。

### 末梢血全血の培養

1. ヘパリン処理した注射筒で採血する。
2. 全血10~100  $\mu$ L をTLY CULTURE® キット25に浮遊させる。
3. 5% CO<sub>2</sub>、37°Cの条件で培養する。

### 末梢血単核球の分離及び培養

1. ヘパリン処理した注射筒で採血する。
2. 密度勾配遠心法で単核球を分離する。
3. 細胞をTLY CULTURE® キット25に浮遊させる。
4. 5% CO<sub>2</sub>、37°Cの条件で培養する。

## 培養条件

1. 培養開始時のリンパ球総数は、10<sup>4</sup>~10<sup>6</sup> 個程度(血液10~1000  $\mu$ L に相当)が適当です。
2. 細胞総数が2×10<sup>7</sup> 個を超えると、増殖の限界となります。新しいフラスコに拡大して培養を継続してください。

## 注意事項

1. ヒト以外の細胞には使用できません。
2. 全血培養の場合は100  $\mu$ L 以上入れないでください。
3. リンパ球の増殖には個人差がありますので、増殖しない場合や増殖に時間を要することがあります。
4. 研究目的以外で使用しないでください。

## 保存方法

使用時まで凍結保存(-20°C)してください。

## 使用期限

凍結保存で製造後少なくとも1年間安定です(使用期限は外蓋のラベル内に表示)。  
解凍後は速やかに使用してください。

## 包装単位

2個入(TLY-FK25-2)  
5個入(TLY-FK25-5)

## 参考文献

Sekine T, Shiraiwa H, Yamazaki T, et al : Biomed. Pharmacoter. **47** 73-78 (1993)  
関根暉彬、高山忠利、許斐康司ほか : HUMAN CELL **7** 121-123 (1994)

製造元: 株式会社GCリンフォテック

〒135-0041 東京都江東区冬木18-4

TEL:03-3630-2530 FAX:03-3630-2531

<http://www.lymphotec.co.jp>

E-mail:info@lymphotec.co.jp